



避難生活支援コーディネーターについて



避難生活支援・防災人材のイメージ見直し

	リーダー／サポーター	コーディネーター	専門アドバイザー
災害ボランティア人材のモデル	一つの避難所において、応援職員、住民代表等と連携し、避難生活の環境向上に率先して取り組むことができる人材	自らの経験とスキルを活かして、一つの避難所に常駐又は複数避難所を巡回し、応援職員、各種専門職チーム、市町の避難所担当職員等と連携し、避難生活の環境向上に取り組むことができる人材	被災地に派遣される専門職チームの一員又は地元の専門職として、ボランティアや応援職員と連携しながら、諸課題の解決に取り組むことができる人材
求められる人材像	<ul style="list-style-type: none"> 避難所運営等について、改善点を自ら見出し、実践していける存在 性別等の多様性の観点を考慮し、一つの避難所に複数いることが望ましい ※コーディネーター、専門アドバイザーと連携した活動を想定 	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に、防災・被災地支援のみならず、男女共同参画、福祉など専門的なスキルを活かした活動をしていることが望ましい 運営に関わる担い手、専門職と連携し、避難生活に必要な支援プログラムをつくることができる 被災地支援の経験を積みながら、自らのスキル向上に努めることが期待される 	<ul style="list-style-type: none"> 一定期間継続的に避難生活に携わるため、安定して人材を拠出できる組織に所属 専門的支援を理解して、課題解決のために取り組める存在

コーディネーター

- 現在のLS講師および養成研修の受講者を想定した役割。運営に関わる担い手と連携した環境改善に率先して取り組む人材とする
- 避難所にこだわらず、在宅避難者支援なども含む避難生活支援全般に関わる（状況にあわせて、1つの避難所に特化する場合もあれば、複数の避難所を巡回する場合も想定）
- リーダー／サポーターからのスパイラルアップ、内閣府会議委員からの推薦によって選出する想定。また、リーダー／サポーター研修講師を担うほかスキルアップ研修の受講を想定**

専門アドバイザー

- 避難生活支援の環境改善のために、医療・保健・福祉等の専門的な知見を活かした支援・助言ができる人材を想定。
- リーダー／サポーター、コーディネーターそれぞれの役割を理解して、必要に応じて連携して活動を展開することを想定。
- 専門職などを対象に、特定の研修プログラムを提供し、受講した方に名称を付与する想定。**日赤救護班・DHEAT・DWAT等の登録者と、コーディネーターは平時からの情報交換等を通じて相互理解の醸成が図れることが望ましい

避難生活支援コーディネーターの育成OJTカリキュラム



○「避難生活支援・防災人材エコシステム」構築に向けた避難生活支援コーディネーター育成OJTカリキュラムの試行プログラムとして、令和6年能登半島地震における避難所、令和7年8月豪雨山形県戸沢村の避難所において、R5年度・LS研修講師養成研修受講者を対象に、避難生活支援を行うこととした。

	七尾市・穴水町	穴水町	輪島市	戸沢村
受入団体	被災地NGO協働センター 担当者：頼政氏	レスキューストックヤード (RSY) 担当者：栗田氏・浦野氏	ピースポート災害支援センター (PBV) 担当者：辛嶋氏	特になし
期間	2月下旬～4月上旬	2月上旬～3月中旬	7月中旬～8月下旬	9月上旬
関わり方	団体の拠点で受入団体スタッフとともに、もしくは単独で物資を受け取りに来た被災者へのニーズの聞き取りを行った。 また、専門職（看護）と被災者宅に伺い、ニーズの把握を行った。	自らの経験とスキルを活かして、一つの避難所で環境改善に必要な取組を提案・実施を応援職員、町職員と連携し実施。RSYスタッフと調整しつつも、単独で判断することもあった。	PBVスタッフと協議の上、自らの経験とスキルを活かして、避難所で環境改善に必要な取組をサポート。	JVOADからの依頼を受けて、避難所アセスメント調査を実施。
具体的な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 物資の荷受け、配布物資の補充、炊き出し支援 物資拠点に来た被災者へのニーズ、困りごとを聞き取りし受入団体（協働センター）に共有 戸別訪問：ボランティア支援の内容やその相談伺い 看護師派遣職員と一緒に避難所の物資に関するニーズの聞き取りを行う 避難所の統合に向けて市の担当課と打合せ 	<ul style="list-style-type: none"> 避難所の環境改善を検討するため一つの避難所を訪問し状況確認。対口支援の自治体職員と運営について相談 避難所にて情報掲示板の作成および敷布団等の利用状況の確認、部屋割りの調整に伴う掃除や物資の整理 避難所運営のタイムスケジュールや役割分担を決める際のファシリテーターを担う 在宅避難者への昼食をお届けし、被災者の困りごとを伺う 	<ul style="list-style-type: none"> PBVスタッフと一緒に避難の運営や避難生活に関する被災者支援を行う 避難所の他運営スタッフをコーディネーターする役として活動 辛嶋氏と一緒に避難所全体、避難生活に関する支援を総括する立場で活動 など 	<ul style="list-style-type: none"> 避難所アセスメント調査を行うほか、被災者支援の状況を把握するために、災害VC、支援に関わるNPO等のヒアリングを行う アセスメント結果をもとに今後の取組について戸沢村長ほか幹部にレクチャー

派遣対象者	場所	期間
小山内世喜子氏（男女共同参画地域みらいねっと代表理事）	穴水町	2月1日～2月6日
	七尾市	3月15日～3月19日（総合体育館）
	輪島市	7月26日～7月31日
	戸沢村	9月4日～5日
北村育美氏（さすけなぶる研究会／東日本大震災支援全国ネットワーク）	七尾市	2月9日～2月13日 3月20日～3月24日（総合体育館）
	七尾市	2月21日～2月27日 3月30日～4月5日（総合体育館）
佐藤純氏（特定非営利活動法人 Hand Over Japan 代表理事）	七尾市	2月21日～2月27日 3月30日～4月5日（総合体育館）
	輪島市	7月11日～7月16日
小柳由佳氏（日本赤十字社長野県支部 事業推進課長）	七尾市	2月21日～2月27日
水野直樹氏（特定非営利活動法人 ソナエトコ理事長）	穴水町	2月24日～3月1日
	輪島市	8月22日～8月28日
甘中繁雄氏（NPO法人首都圏防災士連絡会 理事）	穴水町	3月5日～3月11日
	穴水町	3月9日～3月13日
細谷真紀子氏（山形県自主防災アドバイザー、図上訓練指導員）	輪島市	7月19日～7月24日
	戸沢村	9月4日～5日
	七尾市	3月11日～3月16日
高智穂さくら氏（特定非営利活動法人 ソナエトコ）	輪島市	8月3日～8月8日



写真①：避難所での避難者に炊き出しの状況を伺っている（小山内氏）／写真②：役割分担を決めるMTGで進行を行う（小山内氏）
 写真②：在宅避難者へのニーズ聞き取り後の報告（小柳氏・佐藤氏）／写真③：福島大学の学生ボランティアと物資提供スペースの整理を行う（高智穂氏）



- ・ 日時: 令和7年3月6日(木)、7日(金) 10:00～17:00
- ・ 会場: ビジョンセンター日本橋(三越前)別館701(東京都中央区日本橋室町1-6-3)

3月6日(木)＜リーダー／サポーター研修講師養成＞

- (1)開会・オリエンテーション
 - ・ 2日間プログラム紹介
 - ・ 自己紹介
- (2)リーダー／サポーター研修の解説
 - ・ 準備・調整の手順
 - ・ 令和7年度の展開イメージ
 - ・ 講師に求められる役割等
- (3)リーダー／サポーター研修ふりかえり
 - ①避難者の置かれる状況・心情の理解
 - ②避難所の環境改善
 - ③対人コミュニケーション
 - ④避難所運営の担い手との連携・協働
 - ・ 各講義、演習のポイント解説
 - ・ グループにわかれてふりかえり
 - ・ 質疑応答

3月7日(金)＜コーディネーター養成＞

- (1)コーディネーターに求められる役割・資質
- (2)避難所運営に関わる行政の役割
 - 高槻 直樹氏(倉敷市総務局 防災危機管理室 防災推進課)
 - 三谷 潤二郎氏(倉敷市教育委員会 生涯学習施設再編整備室)
 - ・ 庁内体制、外部からの支援、実際の避難所支援
- (3)各種専門職能チームとその役割
 - 尾島俊之氏(浜松医科大学健康社会医学講座教授)
 - ・ 日赤、DMAT、DWAT、DHEAT等の役割
 - ・ 医療福祉調整本部等の機能
- (4)避難所環境改善ケース検討
 - ・ 避難所の寝具導入を検討する演習
 - ・ 状況を付与し、具体的な対応策をグループで検討
 - ・ 発表、全体ディスカッション



敬称略、順不同、都道府県名は活動拠点。肩書は令和7年3月時点。

講師

1	浦野 愛	レスキューストックヤード 常務理事	愛知県
2	辛嶋 友香里	ピースボート災害支援センター 現地コーディネーター	東京都

参加者

1	本田 綾子	Wellbe Design	北海道
2	鈴木 伸明	群馬県社会福祉協議会災害支援センター 所長	群馬県
3	石倉 敦也	サニーズマーケット 管理者	群馬県
4	南川 基治	特別養護老人ホームやまつつじ/理学療法士	群馬県
5	加藤 鮎美	日本赤十字大学大学院/看護師	東京都
6	谷本 恵子	かながわ311ネットワーク 専務理事	神奈川県
7	森本 佳奈	レスキューストックヤード/愛知県被災地支援センター	愛知県
8	若月 徹	藤田医科大学 医学部医学科 健康科学准教授、防災教育センター副センター長	愛知県
9	工藤 美佐	山口県災害看護研究会(YDNT) 副代表	山口県
10	澤上 幸子	えひめ311 副代表理事兼事務局長	愛媛県
11	伊藤 リカ	災害支援ふくおか広域ネットワーク事務局/萤火	福岡県
12	岡部 由紀夫	西九州大学 准教授	佐賀県
13	林 智子	佐賀整肢学園 かんざき日の隈寮	佐賀県
14	公門 寛稀	Public Gate 合同会社 代表	佐賀県
15	小山内 世喜子	男女共同参画地域みらいねっと 代表理事	青森県
16	甘中 繁雄	首都圏防災士連絡会 理事	千葉県